

別名? ④

漫画: 東園子



～アドラー流で考える生徒・保護者とのコミュニケーション～
前回までは、事例を通して日々の生徒や保護者とのコミュニケーションを振り返ってきました。今回はまとめとして、自分自身について考えてみましょう。

◆こんな時、どうしましょう?

自分の指導に自信が持てない……。

日頃から熱心にご指導をされているからこそ、悩みや苦労が出てくることもありますよね。自分の指導について感じていることや頭の中で考えていることを書き出してみましょう。書き出してみることで、思考整理ができますし、改善点もきつと見えてきます。

●どのようなことに自信が持てないと感じていますか? *書き出してみましょう。

()

●それを改善するためには、どのようにしたらよいと考えますか? *書き出してみましょう。

()

◇アドラー流コミュニケーション ～松井先生の場合 *一例として参考にさせていただきます。

私も過去に友人の上手な演奏を聴いて、自分のレベルの低さに落ち込んだり、どうしてこんなに練習しているのにうまく弾けないのかと、自分の才能のなさや環境のせいにしたこともありました。華やかな経歴もなければ、生徒がコンクールで大きな賞を受賞したということもありません。かつてはそれをコンプレックスに感じていたことも、正直言えばあります。アドラーは「劣等感」について、こう語っています。「劣等感を抱くこと自体は不健全ではない。劣等感をどう扱うかが問われているのだ。つまり人は誰でも、劣等感をバネに成長することができる、と教えてくれているのです。

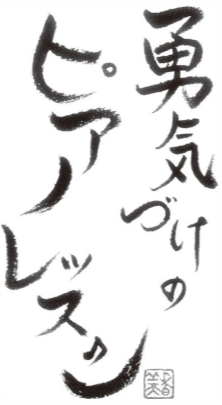
生徒さんを勇気づけるべきおとなにこそ、本当はもっと「困難を乗り越える力」＝「勇気づけ」が必要なのかもしれません。私たちおとなもまた、「生徒さんへの勇気づけ」と同様に、「自分への勇気づけ」をしていかなければならないと考えています。

「相手(この場合は生徒さん)をより良い方向へ導きたいのであれば、まずは自分から変わる。」というのがアドラー流の考え方です。心から生徒さんのことを考えているのであれば、今までのうまくいかなかった方法を見直してみてください。

読者のみなさんは、既に多くの勉強をされていることと思います。ですから、堂々と胸を張り自信を持って、指導に取り組んでみてください。ピアノを弾くのは、あくまでも生徒さん本人です。他人を変えることはできません、変わることができるのは自分だけなのです。

松井美香 まつい・みか

「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。『愛のピアノレッスン』(学研プラス刊)にて手記を執筆。『学研キッズネット for Parents』にて、アドラー流子育てコラム連載中 (https://kids.gakken.co.jp/parents/series/adler/)。<HP>松井美香ピアノ教室 http://matsuimika-piano.net <ブログ>ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 http://ameblo.jp/makeachangewithlove *無料メルマガ好評配信中 (ご登録はブログにてお知らせしています)

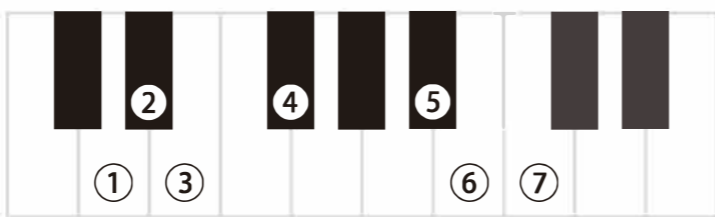


第47回

チャレンジ!

【#とbが付いたときの全音と半音】

鍵盤の2つの番号の音の間隔が全音となるものに○、半音となるものに△を書きましょう。



- ①と②(△)
- ①と③()
- ③と④()
- ⑤と⑥()
- ⑤と⑦()
- ⑥と⑦()

(▽)②⑦⑧ (○)②⑦⑧ (▽)②⑦⑧ : ♯

Gakken

株式会社学研プラス 音楽・キャラクター事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220
学研 おんがく.net http://www.gakken.jp/ongaku/
電子書籍ストア Beyond Publishing http://bpub.jp/
twitter @gakken_music Facebook gakken.music

Gakken

株式会社学研プラス 音楽・キャラクター事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220

学研 おんがく.net http://www.gakken.jp/ongaku/
電子書籍ストア Beyond Publishing http://bpub.jp/

twitter @gakken_music
Facebook gakken.music

学研3月号
おんがく通信

TAKE FREE

今月の特集は没後100年を迎えるドビュッシーです。別分野ですが、他にも100年を迎える人物がいます。オーストリアの画家、グスタフ・クリムトです。彼もジャポニズムの影響を受けました。ドビュッシーとはほぼ1ヶ月違いで生まれ、亡くなっています。あらゆる分野で画期的なことが起きた時代、何があったのか気になる!(お)

2018年2月25日

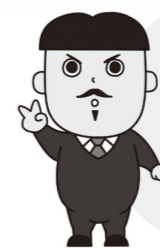
クロード・アシル・ドビュッシー
Claude Achille Debussy (1862.8.22-1918.3.25)
没後100年を想う

このおんがく通信は毎月25日が発行日ですので、この号の発行日、2018年3月25日は作曲家クロード・アシル・ドビュッシーの99回目の命日。そう、今年はドビュッシーの没後100年のメモリアル・イヤーなのです。そこで今回はドビュッシーの生きた時代について、日本の近代化をからめつつ考えてみたいと思います。

ドビュッシーが亡くなった1918年は大正7年、ちょうど大正デモクラシーの黎明期、とでも言えるでしょうか。ところで、読者の皆様はNHKの連続テレビ小説「わろてんか」をご覧になっていますか? ある日、ふと思いついて調べてみたら、「わろてんか」の時代背景は一部ドビュッシーの生涯と重なるのです! 「わろてんか」の主人公のモデル、吉本せい氏が吉本興業の前身を発足させたのが大正2年、1913年の事。「わろてんか」の物語中では当時の日本のエンターテインメントの隆盛が描かれていますが、遠いフランスの地、ドビュッシーは1910年に《前奏曲集 第1巻》を、1912年には《前奏曲集 第2巻》を完成させるなど、非常に充実した作曲活動を行い、作曲家としてゆるぎない地位を築いていたわけで、その事を思うだけでドビュッシーの作品も、「わろてんか」もますます興味深く愉しめそうです。

メモリアル・イヤーといえば、今年は「明治維新150年」のメモリアル・イヤーでもあるそう。ちなみに、「わろてんか」と同じNHKの今年の大河ドラマは「西郷どん」で、まさしく維新の立役者を描いていますが、西郷隆盛の生涯はドビュッシーの前半生に重なります。日本が大きく動くこの時代、ドビュッシーはパリ万博でパリのガムランや日本の浮世絵など東洋の文化にふれ、大きなインスピレーションを得て独自の作風を確立する原動力としているのですが、この事についてはもっともっと探りたい! …と思いつつ、紙数が尽きてきましたので別の機会(があれば…)に譲りたいと思います。

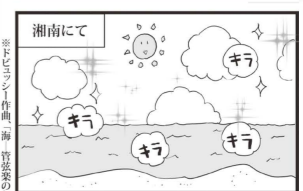
今回はたまたま見ているNHKのドラマに切り口を求めましたが、「なぜ日本ではドビュッシーがよく知られているのか」といったような事や、ドビュッシー自身が著した評論集、書簡集などに「ドビュッシー」へのアプローチを求めると、さらに知的好奇心が刺激されてワクワクします!(か)



おんがく通信で大人気連載中の4コマ漫画「どれみふぁ荘」のドビュッシーはとってもおちやめ!



海へ



2017年9月号「シェアハウス どれみふぁ荘 No.22「海へ」より

Gakkenの楽譜こぼれ話

「おうちでもできる!」おんがくドリル&おんがくワークブックが2017年12月に完結致しました。表紙のイラストも全5巻すべてが揃い、テーマは「のりもの」、レベルが上がるにつれてだんだん出せるスピードが速くなっている…というのがお分かりいただけましたでしょうか? ひのあけみさんのイラストはどれも楽しさいっぱい! ワクワクしながら表紙を開けますね!(か)



編集部の一問一答!

学研・音楽事業チームのスタッフに音楽の好きなところ、自分だけのこだわりなどを聞いてみよう! というコーナーです。

- 今月の回答者:(お)
- Q: 電車発車メロディー、何駅が好き?
 - A: 恵比寿駅 ビール!
 - Q: 推しメンならぬ、推し楽器は?
 - A: スチールドラム。
 - Q: 日常で聞く音、音程は気になる?
 - A: 踏切は気になる。

教えて! ピアノ・レッスンのあれこれ

全国の楽器店で配布中の冊子(無料)『ピアノの先生のためのレッスンQ&A』よりご紹介いたします。

Q ペダルで音が濁ってしまいます。指導のコツを教えてください。

A **あかね先生の回答**
「ペダルを使った演奏は子どもたちの憧れです。でも、ペダルの使い方はいつになっても難しいもの。その目指す効果とは逆に、音が濁ってしまったり、つながらなかつたり……。特に子どもにとっては左手と右手が違う動きをするだけでも大変なのに、足も加わるとなるとわけが分からなくなるのも当然です。ポイントを整理して指導してあげましょう。その時、ペダルを“踏む”ことよりも“離す”タイミングに注意をすると良いと思います。またこの段階になると、音の響きを“よく聴く”訓練も大切になってきます。目的をはっきりさせ、その部分だけを取り出し、ゆっくり、丁寧に指導していくようにしましょう。」

ペダルを“踏む”ことよりも“離す”タイミングに注意をする……ピアノって奥が深いですね。そして、自分がどのような音を出しているか、いろいろなことを感じながら聴くって、案外難しいことだと思います。じっくり、時間をかけて自分の音と向き合う訓練をしていきたいですね。(ゆ)

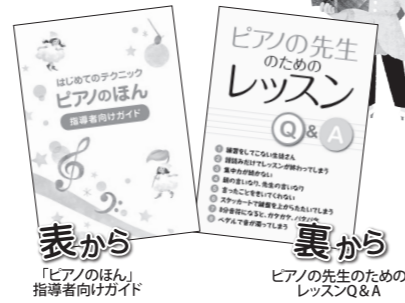
今月のセミナースケジュール

3/8 (木): [埼玉県/熊谷] タニタ楽器 熊谷本店 5F ホール
『リズム』を確実に身につけるためのレッスン<リズム・セミナー/発展編>

3/16 (金): [愛知県/名古屋] ヤマハ名古屋ホール
『譜読み』の基本を身につけるレッスン

3/15 (木): [埼玉県/富士見] 島村楽器 ららぽーと富士見店 L 部屋
「子どもが飽きない『リズム』のレッスン」<リズム・セミナー/導入編>

全国の楽器店で配布中!!



特別小冊子!!

■B6判/4C/32頁/無料

楽器を知らう

第3回 オーボエ

オーボエは、ダブルリードを使用します。クラリネットと似た形をしていますが、吹き口が異なります(クラリネットはシングルリード)。オーケストラの中でもよく音が通る、独特な音色が特徴的。息を吹き込む穴が小さいため、少ない息で鳴らすことができます。長いフレーズの演奏が得意です。



オーボエ

フランス語で「haut-bois」、
“高い音の木”という意味です。
高音域を担当する木管楽器のため、
このように呼ばれます。

哀愁漂う美しい音色のため、
歌謡曲や演歌の間奏にも
よく使われます。

バロックの頃から、オーケストラを
リードする楽器として大活躍!

17世紀中頃にフランスで
誕生したと言われています。

オーケストラのチューニングは、
オーボエを基準に行うのが一般的。
フルートやクラリネットのように、
チューニングのために
抜き差しする管がないからです。

音色が女性の声に
似ていると言われています。

この1曲!!

W.A. モーツァルト作曲 オーボエ協奏曲 八長調 K.314

オーボエ協奏曲の中でも特に有名で、世界中で親しまれています。オーボエ奏者のプロ・オーケストラの入団試験では、必ずと言っても良いほど演奏される曲です。

<その他のおすすめ協奏曲>

R. シュトラウス作曲 オーボエ協奏曲 二長調

吉松隆作曲 夢色モビール II Op. 58a

名曲ものがたり

vol.2 ショパン

英雄ポロネーズ (ポロネーズ第6番 Op.53)

polonaise ポロネーズ*

ポロネーズは、ポーランドの3拍子のゆったりとした民族舞踊です。語源はフランス語の“polonaise”=「ポーランド風の」「ポーランド舞曲」からきています。

～ポロネーズの基本のリズム～



起源については諸説あり定かではありませんが、15世紀以前のポーランドの民謡や踊りが、やがて貴族の宮廷や王宮でも取り上げられるようになり発展した、と一般的に言われています。18世紀以降、J.S. バッハやテレマンなどドイツの作曲家が芸術音楽に取り入れたことにより、ヨーロッパ中に広まりました。

18世紀までは3拍子の舞踊といえば「メヌエット」でしたが、それに取って変わったのが「ポロネーズ」と「ワルツ」でした。ポロネーズは、ワルツのように激しい回転をしないことから、舞踏会への入場行進曲として用いられることが多かったようです。

さらに18世紀末から19世紀にかけては、家庭やサロンでも演奏され親しまれるようになりまし。この頃に、ピアノやハープのポロネーズが数多く作曲されています。ショパンの「英雄ポロネーズ」もこの頃に作曲されました。力強いリズムと優美なメロディーは、ポーランドの栄光を讃えていると言われており、愛国心が強く表現されています。

器楽曲の「ポロネーズ」

J.S. バッハ

管弦楽組曲 第2番 BWV1067
第5曲ポロネーズ

テレマン

《忠実な音楽の師》ポロネーズ 二長調

ショパン

軍隊ポロネーズ
(ポロネーズ第3番 Op.40-1)

ベートーヴェン

ピアノ、ヴァイオリンとチェロのための
三重奏曲 Op.56 第3楽章

*舞曲ではない「ポロネーズ風」(alla polacca)
という表記の曲も多く存在します。

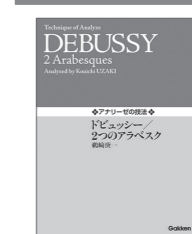
Music Quiz

Q ハイドンの交響曲第96番が《奇跡》と呼ばれるきっかけとなったエピソードは、次のうちどれでしょうか?

- ① 指揮をしていたハイドンがステージから落ちたのにけがをしなかったから
- ② 客席にシャンデリアが落ちたのに誰もけがをしなかったから
- ③ 演奏者の楽器がステージから落下しそうになったが、すんでのところでキャッチしたから

答え: 2. 客席にシャンデリアが落ちたのに誰もけがをしなかったから
ハイドンが自ら交響曲第96番を指揮しようとした時に、聴衆がハイドンをもっと間近で見るために客席を離れ、オーケストラの方に殺到したそうです。その時、天井からシャンデリアが落下しました! しかし、落下したところはちょうど聴衆が前方に移動して空席になった場所だったため、けが人が出なかったそうです。この幸運に、「奇跡だ!」の声が上がり、このように呼ばれるようになったとか。その後の研究で、このエピソードは交響曲102番のことであると判明したようですが、今でもこの第96番が《奇跡》という愛称で知られています。

新刊情報
楽譜
アナリーゼの技法
ドビュッシー/2つのアラバスク
橋崎庚一



3月中旬発売

アナリーゼ楽譜の
決定版!
画期的な“チャート”の
採用で難解な楽曲分析も
ビジュアルで
理解しやすい!

■菊倍判/56頁/2C/本体価格1,600円(税別)

アナリーゼの技法 シリーズ 既刊8巻 発売中

■各: 菊倍判/72~88頁/2C/本体価格1,600円(税別)

- ◆ バッハ/インヴェンション
- ◆ バッハ/シンフォニア
- ◆ ソナチネ・アルバムI/クーラウ
- ◆ ソナチネ・アルバムI/クレメンティ
- ◆ ソナチネ・アルバムI/ハイドン/モーツァルト/ベートーヴェン/ドゥシェク
- ◆ ショパン/ワルツ選I
- ◆ ショパン/ワルツ選II
- ◆ シューマン/子供の情景